

Kizuna 地域づくり＝人づくり

妙高市文化ホール開館30周年

妙高市文化ホールの使命は、教育及び文化の向上並びに福祉の増進を図るため、「学習の機会や優れた芸術文化活動の鑑賞、発表の場の提供」「市民の自由で清新な創造エネルギーを活かした個性と心豊かな地域文化、市民文化の推進」を行うことにあります。

このことは、文化芸術基本法の前文にもあるように人々の変わらない願いである「文化芸術を創造し、享受し、文化的な環境の中で生きる喜びを見出すこと」であり、ひいては「人々の創造性をはぐくみ、その表現力を高めるとともに、人々の心のつながりや相互に理解し尊重し合う土壌を提供し、多様性を受け入れることができる心豊かな社会を形成するものであり、世界平和に寄与し、「それぞれの国やそれぞれの時代における国民共通のよりどころとして重要な意味を持ち、国際化が進展する中において、自己認識の基点となり、文化的な伝統を尊重する心を育てる」ことでもあります。

私たちは、東日本大震災により、古来の歴史遺産や言い伝え、人と人との「絆」がいかに大切か、そして、人間にとっての幸せとは何かをあらためて思い知らされました。

開館30周年を迎えるにあたり、芸術文化という感性で個性豊かで創造性のあふれるまちづくりをさらに推進するため、「かおり高い文化の継承」と「地域の魅力＝人づくり」を統一テーマとし、地域の歴史と文化そして文化の持つコミュニケーション力を活かした記念事業を開催することとします。

年間を通して開催する事業のメインは、100年前に「人間と自然との調和」を芸術理念とし、妙高に東洋のバルビゾンを見つけた妙高市赤倉で没した岡倉天心が、自然と芸術、東洋と西洋の融合を実現すべく最晩年に書き上げたオペラ台本「白狐(びやっこ)」を多くの市民が関わることで地域の「絆」を深め、かおり高い文化の継承と創造を目的とする舞台作品として上演します。

交通のご案内
お車をご利用の場合
上信越自動車道 中郷インターより約15分
上信越自動車道 上越高田インターより約15分
北陸自動車道 上越インターより約30分
JRをご利用の場合
信越本線新井駅下車
徒歩で約10分、タクシーで約3分

公益財団法人妙高文化振興事業団
(妙高市文化ホール指定管理者)
〒944-0046
新潟県妙高市上町9-2
妙高市文化ホール内
t 0255-72-9411
f 0255-72-9412
www.myoko-bunka.jp

この作品は1913年に書かれたもので、岡倉の国守「辰蔵」と彼に助けられた白狐「コルハ」の物語で、信田の森の狐伝説に基づいています。彼の主要な著作がそうであるように、これもまた英語で書かれ、ラキストは完成し、(作曲家 (リブラー) も決定しましたが結局、作曲はされませんでした。オリシナル・ラキストは、天心がいさべら・スチュワート・カーチン夫人に献呈したもので現在、イサベラ・スチュワート・カーチン美術館 (ボストン) の所有となっています。「白狐」のオペラ化としては、平成19年 (2007年) に東京藝術大学創立120周年記念企画として、ボストン在住の作曲家戸口純氏の作曲により部分的に作曲され、英語上演されましたが、日本語での上演はまだされておらず、新たに全3幕を指揮者で作曲家の平井 秀明が翻訳・台本・作曲する妙高市での上演が日本語世界初演となります。

妙高市文化ホール開館30周年記念事業メインステージ 〜オペラ白狐〜 について

オペラ白狐世界初演
英語版ロコヤーク

開館30周年ロコヤーク
人と自然との共生

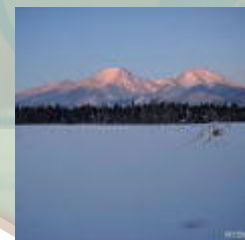
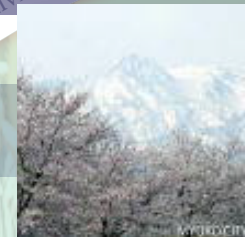
オペラ白狐ロコヤーク
趣の葉伝説より



おかげさまで
妙高市文化ホールは今年
開館30周年

妙高市文化ホール開館30周年記念情報誌

妙・高・ Since 2013 Vol.1
芸術文化という感性で個性豊かで創造性のあふれるまちづくり



公益財団法人妙高文化振興事業団
Myoko Arts Foundation